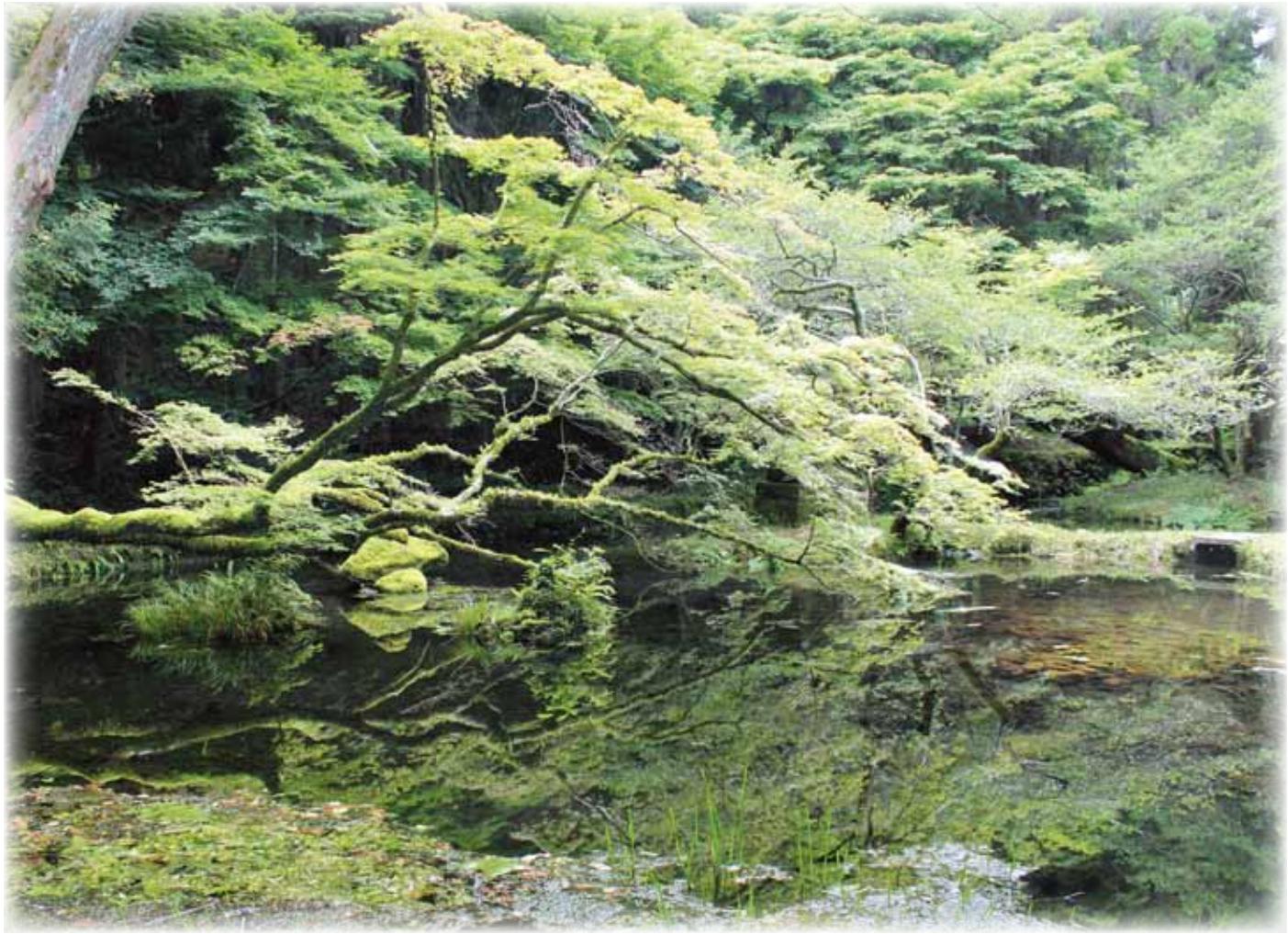




<http://www.jaaso.or.jp/>

JAあそだより

平成26年8月



山吹水源(産山村)



■今号20ページ主な内容

- JA阿蘇「第13回通常総代会」を開催
再任の工藤保雄組合長ほか新役員を選任
- 新執行部就任ご挨拶、新理事・新監事ご紹介
- 生産各部会の生育・出荷・総会・査定会等報告
- 地域社会と共に活動する青壮年部・女性部の動き
- あそっ子ら松原海水浴場で「地引網」を体験!
ほか、JA阿蘇の話題を満載!

 阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5
TEL 0967-22-6111/FAX 0967-23-1088

地域経済社会に貢献をすべく事業展開を目指し、JA阿蘇第13回通常総代会が開催される

JA阿蘇の第13回通常総代会が6月24日、総代やJA阿蘇役職員をはじめ管内自治体首長ら多数の来賓を迎えて、阿蘇市体育館で開催されました。開会冒頭に工藤保雄組合長が「組合員の負託に応えることを基本としながら、地域住民や利用者に信頼される『安全・安心』な農業の展開、併せて地域経済社会に貢献をすべく、事業の展開を目指し、役職員一丸となつて取り組んでいきたい」と挨拶。来賓祝辞、出席人員報告後、議長に河津利明氏（南小国町）を選任し、議事に移りました。議事では、「第1号議案」平成25年度事業報告及び剰余金処分案について



開会の挨拶をする工藤保雄組合長

**全議案とも議案どおり承認
再任の工藤保雄組合長はじめ
新役員が選任される**

(報告事項)、平成25年度貸借対照表、損益計算書、注記表及び附属明細書について、「第2号議案」平成25年度事業計画及び関連事項について、「第3号議案」定款の変更について、「第4号議案」役員の選任について、「第5号議案」役員退職慰労金の支給について、「第6号議案」TPP断固反対に関する特別議決について、及び農協改革に関する緊急動議が執行部より提出され、質疑応答が行わされた結果、全議案とも議案どおり承認されました。

役員の選任については総代会終了後、一の宮中央支所会議室で理事会が開かれ、代表理事組合長に工藤保雄氏、代表理事常務に岩下勇人氏と原山寅雄氏、代表監事に岩下友春氏、常勤監事に徳永隆紀氏を選任しました。尚、総代会開会に先立ち、平成25年度表彰が行われました。



総代会に先立ち行われた平成25年度表彰

お知らせ 組合員・契約者の皆様へ 共済業務の移管について

野尻支所にて行っております共済業務について、平成26年9月30日を以って終了し、10月1日より高森中央支所へ業務を移管致します。管内組合員・契約者の皆様のご理解と今後のご利用を宜しくお願ひ致します。なお、詳しい内容につきましては、野尻支所・高森中央支所へお尋ね下さい。

阿蘇農業協同組合

野尻支所 ☎0967-65-0311
高森中央支所 ☎0967-62-0521

強化等を重点的に取り組んでいきました」と挨拶。2014年度慶祝者として喜寿の13人、米寿の8人に表彰状と記念品を贈りました。

総会後、県農林年金相談員の米村身一さんより、年金制度をめぐる情勢等についての講演が行われ、一時払い制度についての説明等もありました。

農林年金受給者連盟阿蘇支部 第38回通常総会で慶祝者を表彰



写真←挨拶する井支部長

写真←喜寿の表彰者

写真←米寿の表彰者

J A阿蘇 新執行部就任のご挨拶①



代表理事組合長
工藤 保雄
(久木野)

このたびの役員改選によりまして、代表理事組合長に再選いただきました工藤保雄でございます。ようしくお願ひいたします。責任の重大さを痛感いたしておりますところでございます。

農業、農村そして農協を取り巻く情勢につきましてはご案内のとおりでございます。

TPP交渉は依然として充分な情報開示がされないままアメリカの都合により、左右されておりますし、唐突にそして拙速に公表された農協改革の議論には憤りさえ感じます。しかし、この改革は自らおこなわなければならぬものであります。いずれにしろ持続的に農業が営めるまた、地域が繁栄する改革を勝ち取らなければなりません。

協同組合運動の基本的な定義、価値、原則を確認し、組合員、職員の意見や想いをよく聞き、そしてまた、理事が地域や組織の意見や実状を集約し、理事会や専門委員会などで活発な発言をいただける組合運営をめざします。

収支において信用、共済部門のウエートが高い現

実があります。その重要性を認識したうえで営農部門の充実をはかりたいと思います。トップセールスに努め、多様な販売戦略を駆使し販売高の増加に努めます。一方、必要経費を精査し、その削減にも努力します。

厳しい社会情勢ではありますが、組合員、地域住民に期待され、地域で選ばれる組織をめざし、また、地域に貢献するJA活動の発展を期するため、積極的な事業活動を図ります。

組合員のみなさん、地域のみなさんの尚一層のご支援、ご協力を心よりお願い申し上げ挨拶といたします。

組合員の皆様には、日頃より組合事業に対しご理解とご協力いただき厚くお礼申し上げます。



代表理事常務
〔経済担当〕
岩下 勇人
(阿蘇町)

今回の役員改選により二期目、代表理事常務(経済担当)に就任しました、岩下勇人でございます。

安倍政権になり新たな米政策経営安定対策の概要が発表されました。特に2018年からは、行政による生産数量目標の配分に頼らずとも国が策定する需給見通しなどを踏まえつつ、生産者・集荷業者団体が中心となつて円滑な生産が行える状況になるよう、

この度、信用・共済部門の担当常務に就任した小国町出身の原山です。



代表理事常務
〔信用・共済担当〕
原山 寅雄
(小国)

※次のページに続く

行政・生産者団体・現場が一体となつて取り組むこととなつておりますし、一方では地域政策として農業農村の多面的機能に着目した新たな日本型直接支払制度(多面的機能支払い)が創設されております。

又、TPP交渉の行方、農協改革などいずれにしましてもJAを取り巻く環境は厳しさを増す中であります、政策に現場の声を反映させ、身近な政策と感じ、内容を理解し農業が将来にわたつて安心して営農が続けられるよう頑張つて行きたいと思います。

組合員の皆様には、日頃より組合事業に対しご理解とご協力いただき厚くお礼申し上げます。

我が家は、畜産・野菜・米の複合経営を行つている生粹の農業人であります。畜産は繁殖牛と仔牛で45頭を飼育しており、野菜は胡瓜をハウス、露地栽培で50aを作付していまして、現在小国郷きゅうり部会長をさせていただいております。

※前のページより続く

米は1.5haを作っています。毎朝5時から胡瓜の収穫と牛のえさやりをし、あとは後継者に託していつも家族に感謝をしながら農協に出勤しています。今までと全く違う生活がはじまり、このことだけを考えても大変なる責務を感じています。

農家と農協の距離が離れつてると感じていますので、つながりを大切にして農家と農協の距離をすこしでも縮めたいと思います。常務になつたからには、農家・組合のために全力で渾身の努力をかたむける所存です。

また、仕事で人が育つ職場づくり、やりがいのある

職場づくりに取り組んで行きたいと思います。私は農業一筋でやつてまいりましたので、農協の経営となるとまだわからぬことばかりです。皆様の叱咤激励を受けながら育てていただきたいと思い、このことをお願いして所信の挨拶といたします。



岩下 友春
(白水)
代表監事

か、今は農政改革・農協改革の議論があることは皆様ご承知のとおりでございます。

このような中、組合員・利用者の皆様から信頼され、その期待に応えるため私たち監事は、監事規程に

基づき理事の業務執行状況、コンプライアンス、法令及び内部規程の遵守、財務管理体制等についての状況を十分検証し、監事7名が協力し一丸となつて監査を実施いたします。これまでの3年間の監事経験を少しでも活かして代表監事を務めてまいりますの

で、皆様のご指導とご協力を賜りますよう宜しくお願ひ致します。

3.長期・安定的な事業利益確保による自己資本の増強を図るため、各事業利用率の向上並びに、

事業・運営コストの再検証及び、事業費用の見直し

4.内部管理態勢の強化を図るため、特に法令遵守の徹底と事務リスク管理の徹底、

これらがJA事業活動や経営にどのように位置づけられ、実践されているかを常に監視して行く必要があります。

このため、常勤監事として日常的監査業務のなかで、情報収集や調査等を進めていくとともに、監事會と共有化を図りながら組合員の皆様の負託にこたえていく所存であります。

皆様のご指導・助言等、よろしくお願い申し上げます。

今回の役員改選により代表監事に就任しました岩下でございます。

さて、農業情勢も依然として厳しい状況が続くな

良質な組合統治を確立する責務を負っています。

今、JAが対処すべき重要な解題について、JA活動総合3カ年計画のなかで、私は次のとおり認識しています。

1.「農業所得10%アップ運動」実践のための体制整備と行動計画の策定・実行

2.「地域営農ビジョン」の実践による組合員との関係強化

3.長期・安定的な事業利益確保による自己資本の増強を図るため、各事業利用率の向上並びに、

事業・運営コストの再検証及び、事業費用の見直し



常勤監事
徳永 隆紀
(区域全域)

ます。

さて、監事は会計監査・業務監査等を通して、理事の職務執行を監査することを任務とし、併せて経営の健全性確保や組合員及び社会からの信頼に応える

今般の役員改選により常勤監事に再任されました。阿蘇で仕事ができることを誇りに、組合員の皆様の営農生活の向上のために、微力ながら何か役に立ちたいという思いは、一期目の就任時と変わりません。よろしくお願い申し上げます。

さて、監事は会計監査・業務監査等を通して、理事の職務執行を監査することを任務とし、併せて経営の健全性確保や組合員及び社会からの信頼に応える

JA阿蘇 新理事 「よろしくお願ひいたします」

志賀 泰次
(産山)笛原 真一
(一の宮)渡邊 良作
(一の宮)蔵原 孝幸
(一の宮)梅木 正一
(南小国)大塚 恵志
(白水)津留 明義
(高森)興梠 修
(蘇陽)山邊 真治
(蘇陽)中島 邦博
(西原)中野 敏嗣
(西原)岩下 義国
(波野)長野 恵藏
(長陽)中尾 雄二
(長陽)古澤 博保
(久木野)興梠 政純
(白水)吉良山友二
(高森・野尻)工藤 西男
(高森)草尾 正行
(阿蘇町)藤田 和美
(阿蘇町)藤林 満也
(阿蘇町)蔵本 悅治
(阿蘇町)山内 幸一
(黒川)佐藤 保
(黒川)杉本 いよ
(女性部)犬飼 忠綱
(青壯年部)河津 篤
(南小国)宮崎 徳雄
(小国)永野 秀幸
(小国)松岡 克明
(小国)

JA阿蘇 新監事 「よろしくお願ひいたします」

新理事

梅木 秀三
(一の宮)宇藤 元志
(高森)宇都宮章吾
(南小国)山中 敬夫
(蘇陽)吉岡 祐一
(阿蘇町)柄原 清子
(女性部)

JA阿蘇「あそっ娘短期大学」開校!

6月20日、今年で3年目となる「あそっ娘短期大学」が開校しました。第1回目のカリキュラムも同日に行われ、当日は「家の光」をテキストに、グラスコード作りをしました。2mmにも満たない程のビーズを1つ1つ手作業でワイヤーに通していく、90cm程のグラスコードを作りあげました。作業中、あそっ娘たちからは「思うようにワイヤーが通らない」と苦戦している様子でしたが、いざ出来上がるとお互いに喜び合い、見比べ合っていました。完成品のグラスコードはネックレスのほか、メガネチェーンとしても利用することが出来、エレガントな「マダムあそっ娘」が誕生しました。参加者(あそっ娘)からは「コード作りは大変だったけど、出来上がりが綺麗で感動しました」との声が上がっていました。次回は9月中旬に「家の光料理教室」を行う予定です。

写真上=あそっ娘短期大学開校式
写真右=あそっ娘短期大学新入生の皆さん

テレビ番組「DO YOU のうぎょう?」→トルコギキョウを取材



“感動”を与える物語的な要素を取り入れ、農業の楽しさ・食育・地産地消を伝えるテレビ番組「Do You のうぎょう?」の取材が7月14日、JA阿蘇波野花卉部会部会長の工藤富之さんの圃場で行われました。

当日は番組キャラクター人形のアグちゃんとグリくんのインタビューを受けながら、阿蘇トルコギキョウの特徴などをPRしました。当日収録された番組は8月1日、熊本朝日放送(KAB)で午後7時54分から放送されました。

J A阿蘇生産各部会の生育・出荷・総会・査定会等の報告!

■南部地区「ヒマワリ」

冠婚葬祭用で
年々高まる需要



J A阿蘇南部地区では5月上旬よりヒマワリの出荷が続いています。ヒマワリは用途が幅広く、冠婚葬祭のいずれでも使用され、栽培期間が45日と短く短期間で収入が上げられ、年間2～3作栽培する生産者も出てきています。

生産者の城井若生さんは「出荷数量

が増量しているので共販体制を確立し、販売力を強化していきたい」と抱負を語っており、生産技術向上と出荷規格などの課題についても、今後さらに協議していく予定です。

販売担当の上田裕樹職員は「市場評価は年々高く、作付面積も増えているので出荷計画を立て、市場には精度の高い情報を繋げていきたい」と、今後の販売にも意気込んでいます。(写真＝出荷前のヒマワリ)(5月28日撮影)

県庁で白水メロン試食宣伝会
「甘くて美味しい」と大好評



J A阿蘇白水メロン部会は6月2

日、熊本県庁で「メロン試食宣伝会」を実施しました。この試みは多くの県民に阿蘇メロンの美味しさをPRするために同部会が毎年開催。その成果もあって「白水メロン」は食味・品質とも良好なメロンとして年々人気が出てきています。

当日は生産者ら8人が参加、80玉ほ

どを1玉500円で販売したところ約2時間で完売。試食した人からは一様に「甘くて美味しい」と、大好評の反応がありました。

同部会ではポジティブリスト制度を遵守するとともに、消費者の手に渡つても生産者が特定できるよう、生産者番号入りのシールを1玉ずつ貼つて出荷しています。(写真＝大好評のメロン試食宣伝会)



場外ホームランメロンの発送作業
(6月9日撮影)

■5～6月初めの時期・数量限定
「場外ホームランメロン」
今季も好調販売で終える

白水メロン部会の時期限定・数量限定の「場外ホームランメロン」販売が、今年も販売好調の結果となりました。

5月から6月の出荷ピーク時、南部野菜センターでは連日予約注文分の発送作業が行われ、日量で約150ケース(2kg)が県内外へ送られました。

同地区での栽培は、規格外品を有利販売するために約10年前から始まり、通常1株に6個着果するのを3個に制限し、大玉で甘い高品質のメロンとして育て販売してきました。そのため年々固定客も増え贈答用としても需要が高まり、遠くは北海道まで送られています。

J A阿蘇中部トマト部会は6月4日、一の宮中央支所で生産者や市場関係者、JA関係者ら約180人が参加し2014年産トマト出荷査定会を開きました。山本清五部会長は「新規就農者も加わり、部会として過去最大の部会数になった。部会目標の13億円を達成できるよう力を合わせて頑張りましょう」と挨拶しました。出荷は6月5日より始まり、7月中旬には本格的な出荷を迎えた。指導担当の宮崎大智職員は「今年は寒暖の差が大きく肥培管理が難しかったが、例年より食味は良い」と期待しています。年産の作付面積は36.97ha(前年比10.3%)、栽培戸数148戸(同)、出荷数量92万ケースを計画しています。

夏秋トマト販売目標額13億円!
中部トマト部会出荷査定会



(写真右＝挨拶をする山本部会長)



■目標販売高は7億円 南部トマト部会出荷査定会



J A阿蘇南部トマト部会は6月10日、生産者・市場・J A関係者ら約100人が出席し、2014年産南部トマト部会出荷査定会を南阿蘇村で開き、選果場への持込要領などについて協議をしました。査定会に先立ち、渡辺和徳部会長が「農業を取り巻く情勢は依然として厳しいが、安全安心な阿蘇トマトを作り多くの消費者に届けたい」と挨拶しました。

同部会では圃場ごとに土壤分析を行い、その結果に応じて必要な量だけ施肥することで、無駄なコストを省いています。販売担当の田上伊織職員は「今年も美味しい阿蘇トマトを消費地に自信を持って届けられる」と力強く語っていました。

出荷は6月13日から始まり、同18

日からは本格的な選果が行われています。今年産の作付面積は22・4ha（前年同）、栽培戸数75戸（前年比104%）となつており、今年11月までに出荷数量2000t、販売高7億円を計画しています。

（写真上）挨拶をする渡辺部会長）

■J A阿蘇中部・南部トマト部会 西日本一の夏秋トマト産地めざし 合同取引会議を開催

J A阿蘇中部・南部トマト部会は6月6日、合同取引会議を阿蘇市で開き部会役員、市場・J A関係者ら14人が出席しました。トマト生産協議会の河内会長は挨拶で「両部会で合同取引会議を行うことにより有利販売につなげたい」と抱負を述べました。

両部会は本年産より九州各県への合同出荷を計画しており、中部・南部の両部会を合わせると、生産者数222戸、栽培面積58・9haとなっています。販売担当の田上伊織職員は「今年も美味しい阿蘇トマトを消費地に自信を持つて届けられる」と力強く語っていました。

出荷は6月13日から始まり、同18

■品質・味ともに良好「阿蘇トマト」 南部野菜センターで選果も順調！



南部野菜センターではトマトの選果・出荷作業が順調に行われています。6月の取材時、日量300ケース（1ケース4kg）ほどで、県内を中心にして九州各県及び中国地方へも出荷されます。

同野菜センターは2005年に新設された施設で、本年度は選果機のカラーセンサーをに入れ替え、今までよりもより鮮明な識別が可能となり、高度な選果・規格の均一化による高品質な作物出荷で市場からも高い評価を得ています。

また南部トマト部会では昨年より品種を「りんか409」に変え、今後の販売にも期待がかかっています。（写真右）選別を行つ作業スタッフ

■「阿蘇トマト」出荷最盛期！ 日量7000～8000ケース



生育状況を確認する職員
(5月30日撮影)

JA阿蘇南部花卉総合部会は5月28日、2013年度総会を開き13年度事業報告など2議案を承認しました。佐藤勝敏部会長は「今年も品質



※前ページにつづく

を重視し、他産地に負けない花の産地作りをしていくために頑張りましょう」と挨拶しました。同部会は南部地区の5地域から構成され、トルコギキョウ、グラジオラスを中心約20品目の花卉が栽培されています。生産者も若手から熟練者と幅広く、お互いに意見交換しながら技術に磨きをかけています。



合同出荷会議で挨拶をする佐藤部会長

目標販売額2億1640万円

らの評価が高まっており、夏場の重要な産地として位置付けされています。

2013年産の出荷実績は出荷数量248万4587本（前年比107・5%）、販売金額1億9989万3708円（同108・7%）。

加して会議前に圃場にて生育状況の確認も行われ、市場関係者からは「スマートな販売を行うためにも精度の高い情報提供を産地には求めていきたい」とか「夏場の産地として重要な場所になつてはいる」と、産地として期待する声が聞かれました。

蘇村で開き、生産者ら約50人参加しました。佐藤勝敏部会長は挨拶で「昨年同様に市場との意見交換を行い、品質・販売力の向上に力を入れ目標販売高を必達したい」と述べました。

を活かし、高品質なグラジオラス栽培（ハウスと露地）に取り組んでいます。また、病害虫防除対策の一つとして薬剤ローテーションを組み栽培管理を行っています。産地強化のために若手育成にも力を入れており、熟練生産者が新規生産者に丁寧に栽培指導をしています。

田上純一部会長は「生産者・行政・市場・JJAの4者が一体となり、産地ブランドを確立するとともに元気ある産地づくりを目指していきたい」と抱負を語っていました。

2014年産の植付面積は2ha(前年同)、生産者9人(同)となっていました。(写真左=植付作業をする生産者=5月28日撮影)

今まで様々な花卉の出荷が行われる予定です。

2011年産の植付面積は2ha（前年同）、生産者9人（同）となつて います。（写真左）植付作業をする生産者（右）

■野尻地区のグラジオラス

熟練が新規生産者に栽培指導

野尻地区ではグラジオラスの球根植え付けが、7月上旬最盛期を迎えた。同地区では高冷地の冷涼な気候



月2日摄影

■野尻地区のリアトリス出荷

夏秋産地としての期待高まる



では主力品目の艶きとして栽培され
他品目と労力が重ならないなどのメ
リットがあり、昨年より栽培が行われ
ています。また、同地が高冷地のため
他産地と出荷が重なりにくいという
メリットもあります。生産者の草村征
憲さんは「若干ではあるが生産者も増
えているので、栽培技術を向上させ、
高品質なものを出荷していきたい」と
今後の意気込みを語っています。

2014年産リアトリス作付面積は32a（前年比114%）、生産者6人（同120%）で、葬祭や仏花として主に九州地区に出荷されています。（写真右）



■蘇陽露地野菜部会総会 安定供給の产地づくりを推進

蘇陽地区では6月6日、生産者ら50人が参加して2013年度蘇陽露地野菜部会総会が行われました。同部会は大根・いんげん・生椎茸の3部会から構成され、九州内外の消費地へ出荷。市場からも重要な夏秋産地として位置付けられています。総会に先立ち町英明部会長が「露地野菜は気象による影響を受けやすいが、良い品物を作つて消費地に安定供給ができるよう頑張りましょう」と挨拶しました。総会では、部会全体研修などの技術面向上に繋がる取り組みも行いたいとしています。

■西原野菜部会総会

「消費者求める野菜づくり」決意

西原地区では6月27日、生産者ら30人が参加し2013年度西原野菜部会総会を開きました。同部会はミニトマト・イチゴ・メロン・ホオズキの4部会から構成され、市場からも重要な夏秋産地として位置付けられています。特に、ここ数年で作付面積が増大しているホオズキは、7・8月盆への重要な供給産地となっています。

総会に先立ち、藤田精一部会長が「良い品物を作つて消費地に安定供給が出来るよう頑張ると同時に、消費者求める野菜づくりも目指そう」と決意を述べました。総会では13年度事業実績など5議案が承認。販売先との情報交換など、有利販売に繋がる取り組みを実施したいとしています。

■目標販売高1億5500万円 白水ミニトマト部会出荷査定会

白水ミニトマト部会は6月20日、2014年産出荷査定会を南阿蘇村で開き生産者ら50人参加しました。冒頭に藤野正二部会長が「今年も安全安心な阿蘇のミニトマトが消費者に届けられるよう、部会一丸で取り組もう」と挨拶。販売基本方針として、①品質・収量確保に向けた基本技術の徹底、②タイムリーな産地情報発信と安定供給体制の構築、③「阿蘇ブランド」の発信と販促活動の強化を掲げました。

同部会は過去に県野菜振興協会より団体功労賞を受賞。高品質の商品出荷で市場より高い評価を得ています。今年は11月までに出荷数量100万パック（1パック200g）、販売金額1億5500万円を予定。作付概況は生産者20人（前年同）、作付面積5.5ha（前年比103%）となっています。

総会に先立ち、藤田精一部会長が「良い品物を作つて消費地に安定供給が出来るよう頑張ると同時に、消費者求める野菜づくりも目指そう」と決意を述べました。総会では13年度事業実績など5議案が承認。販売先との情報交換など、有利販売に繋がる取り組みを実施したいとしています。

取材時、販売担当の姫野活昭職員は「今年は生育が若干遅れ気味だが、品質は例年に負けていない」と話していました。（写真上）出荷査定会の様子、写真下）青果用として出荷されるブルーベリー

■阿蘇高原の爽やかな果実 蘆陽ブルーベリー部会出荷査定会



■目標販売高9450万円 JA阿蘇ピーマン部会



販売担当の田上剣太郎職員は「選別の徹底で消費地からの評価も高まる。他産地に負けない高品質のピーマンを出荷してほしい」と話しています。出荷は県内外へ12月まで出荷数量7万ケース（1ケース4.5kg）、販売額9450万円を予定。作付概況は生産者45人（前年比94%）、作付面積6.6ha（同94%）となっています。

（写真右）出荷規格を確認する関係者

■蘇陽露地野菜部会総会

■目標販売高1億5500万円 白水ミニトマト部会出荷査定会

■阿蘇高原の爽やかな果実 蘆陽ブルーベリー部会出荷査定会



(写真左)出席した生産者の皆さん

13年産については品質は例年に負けない出来でした。14年産については、生産者の所得向上を目指して平年よりも数量が多く、単価の伸びが見られませんでした。14年産としていくことを確認しました。

13年産の販売実績は出荷数量63t（前年比103%）、販売高3379万円（同82%）、キロ単価541円（同80%）となっています。

（写真左）出席した生産者の皆さん

蘇陽栗共販部会は7月11日、山都町で2013年度総会を生産者ら約30人が出席し開きました。総会に先立ち八高君生部会長が「安全安心についても、生産者一丸となつて取り組んでいきたい」と挨拶。総会では事業報告等6議案が承認、可決されました。

13年産については品質は例年に負けない出来でした。14年産については、生産者の所得向上を目指して平年よりも数量が多く、単価の伸びが見られませんでした。14年産としていくことを確認しました。

13年産の販売実績は出荷数量63t（前年比103%）、販売高3379万円（同82%）、キロ単価541円（同80%）となっています。

■一丸となり生産者の所得向上を 蘇陽栗共販部会

■基本方針を確認 「西原甘藷部会」 成績優秀者表彰も行う



西原甘藷部会は7

月11日、生産者ら約80人が出席し2013年



度総会を西原で開催されまし

き、事業報告など6議案が承認、可決さ

されました。広瀬国昭部会長（写真）は挨拶で「販売促進活動を通じ、西原

の甘藷を知つて頂くと同時に、今後とも

も安全安心な品物を生産者一丸となつて作つていきたい」と述べました。

14年産については、栽培管理の徹

底や計画的な出荷による有利販売、產

地イメージ作りなどに取り組むことを確認しました。総会に先立ち成績優秀者表彰が行われました。（敬称略）

▼販売高部門1位＝松永晴喜、2位＝

馬場一昭、3位＝丹波辰巳▼平均単価

部門1位＝秋吉誠二、2位＝島野英之、

■目標販売高6070万円余 さらに販売先との連携強化を！ 南部ナス部会出荷査定会

■目標販売高6070万円余 さらに販売先との連携強化を！ 南部ナス部会出荷査定会

■高森特産「ヒゴムラサキ」 レシピ記載の袋詰めで有利販売

南部ナス部会では単価アップのために取り組んでいるヒゴムラサキ袋詰め出荷が、6月下旬より始まりました。最盛期には毎週3回（1回60ケース）に分けて、東京などの都市圏へ出荷されます。使用の袋側面には大きさを実感してもらうため目盛が入っており、裏面には料理レシピも記載されています。袋詰めの出荷は10月末まで計画されています。



販路拡大に期待がかかる袋詰めのヒゴムラサキ



写真上）挨拶する三森部会長
写真下）査定会出席の生産者

3位＝東武（写真右上）成績優秀者の表
彰同下）出席した生産者の皆さん

■地元市場で関係者にPR
ヒゴムラサキ試食宣伝会



南部ナス部会は7月4日、ヒゴムラサキの試食宣伝会を熊本大同青果（熊本市西区田崎町）で行いました。同企画は、出荷数量が増加する7月中旬以降の販売に向け仲卸業者へのPR活動を目的としたものです。

当団は三森部会長ら生産者4人が参加。朝競りに合わせて試食宣伝会を行い、様々なレシピの紹介もしました。販売担当者の森谷峻職員は「地元での知名度が低いので、試食宣伝会を通して美味しさを知つてもらうと同時に、ヒゴムラサキという名前も定着させていきたい」と今後の課題も話していました。

（写真＝試食宣伝会を行う生産者）

バケツ稲作りで食育活動
青壮年部長陽支部+南阿蘇西小学校



J A 阿蘇青壮年部長陽支部は5月27日、南阿蘇西小の4年生とバケツ稲作りをしました。この活動は自らの手で作物を育てることで、作物がどのようにできるのかを経験し、食べ物を作る難しさを知つてほしいと、同支部が企画して小学校に提案したものです。

当団は5月に小学校近くの畑に種まきましたスイートコーンの間引き作業をしました。作業前に盟友より作業手順などの説明があり、生育のいいものを選びながら作業を進めました。

子供たちは「種をまくだけでは野菜ができないことを知りました」など、作業の大しさを学んだようでした。

当団は盟友5人が参加し、子供たちのバケツ稲作りを手伝いました。参加した子供たちは「土を混ぜるのが大変だったけど楽しかった」とか、「ドロドロの土が気持ちよかったです」という感想が聞かれました。

自分たちの手で野菜作り
青壮年部白水支部+両併小学校

大塚恭徳支部長は「自分たちで稲を育てることで、食べ物のありがたみを少しだでも分かってくれたのでは…」と話していました。同支部では今後も小学校と協力して食育活動を行っていきたいとしています。（写真上＝バケツ稲作りをする子供たち）

いことを体験し学んでほしい」と話していました。

今後は、生育調査などを子供たちと一緒に、8月に行われる両併地区の夏祭りで販売を計画しています。



盟友と一緒にスイートコーンの手入れをする子供たち



力いっぱい地引網を引くあそっ子

平成26年度第2回「まるごとあそっ子スクール」は7月5日、総勢80人が参加して玉名市岱明町松原海水浴場で「地引網体験ツアー」をしました。

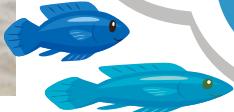
当団は、地引網保存会(植田一馬代表)の協力で、明治時代から伝えられている伝統漁法である地引網に挑戦しました。あらかじめ、小型船を使って1400mほど沖合に仕掛けられた網を、あそっ子らが力いっぱい一齊に引きました。やがて、魚が入った網が上がってくると、割れんばかりの歓声があがりました。

今回参加したあそっ子の佐渡靖博くんは、「海水は冷たかったけど、魚がたくさん獲れて嬉しかった」と、感想を述べていました。

第2回「まるごとあそっ子スクール」

玉名市松原海水浴場で

「総勢80人で地引網体験！」
あそっ子ら、大漁に大興奮!!



地引網には大きな
エイも入ってた！

獲れたての新鮮な魚は網焼きもうまい！



おいしがつた「海鮮汁」



地引網に参加したあそっ子とスタッフの皆さん

地域社会と併に、地域の特色を生かした活動を実践=JA阿蘇女性部

夏場の節電対策
ヘチマで「緑のカーテン」作り



ヘチマ苗を植えた支部長の皆さん

女性部支部長の皆さんらが5月29日、JA阿蘇本所で「緑のカーテン」作りをしました。緑のカーテンは日光を遮ったり、和らげたりすることで室内の温度を下げることができ、省エネ・節電の効果に期待ができます。

当日は各支部長ら7人がヘチマ苗を1本1本丁寧にプランターに植え付けました。当日植えたヘチマは各支所・事業所に配布され、約1カ月半後には立派な緑のカーテンへと姿を変えることになります。

柄原部長は「初めての取り組みですが、組合員やJA利用者を涼しげに迎えられるよう大切に育ててください」と話していました。

JA阿蘇一の宮斎場で 「エンディングノート」合同研修会



女性部は5月29日、JA阿蘇一の宮斎場で「エンディングノート」についての合同研修会を開きました。

最初に家の光協会の上床龍吾氏が「エンディングノートは、あなたの自身が歩んできた人生を振り返るためのノートです。家族や友人への感謝の気持ちや自分の希望や意思を伝えることで、幸せなエンディング(終末)を迎えることができます」と、講演を行い、

次に有サープの石井文子氏が「湯灌(ゆかん)の儀式について」の実演と講習をしました。「湯灌とは亡くなられた方が自宅で最後に入るお風呂。遺族も立ち会うことができ、湯灌後に服装を着せることで心置きなく見送ることができます」と説明しました。

また、曹洞宗地蔵院住職の荒木正昭氏の講演も行われました。参加者から

部員の健康と近い将来に備え 「口コモ対策」女性部健康教室



女性部南阿蘇支部(宮崎ヒサ子支部長)では、恒例の健康教室を6月12日より始めました。この健康教室は体調を整え、暑い季節を乗り切つていける体力作りと、近い将来に備えた口コモ対策が目的で10月まで行われます。

当日はJA熊本厚生連健康管理部指導のもと、部員22人が音楽に合わせ健康体操などで汗を流しました。担当の瀬井真美職員は「気軽に参加して頂き、楽しく健康な体作りをしてほしい」と新たな参加者を募っています。

は、「70歳を過ぎて生き方の反省、明日をどのようにして迎えようか」という新たな心構えが湧いてきた」との感想が聞かれたました。(写真上)=「エンディングノート」研修会に参加した皆さん)

地元産の花を使って
フラワーアレンジメント教室



フラワーアレンジメントを作成する女性部南阿蘇支部の皆さん

女性部南阿蘇支部は6月25日、部員ら35人が参加し南阿蘇村でフラワーアレンジメント教室を開催しました。宮崎ヒサ子支部長は「地元で栽培されている花を知ることができ、併せて部員同士の交流の場になれば嬉しい」と挨拶しました。

当日は同支部の佐藤好子さんを講師に、グラジオラスなど6種類の花やアスピラガスの枝を組み合わせたアレンジメントを作成しました。

参加者は「地域に様々な花があることが知れてよかったです」と話していました。同支部では11月頃に正月用のフラワーアレンジメント教室を開催する予定です。



J A阿蘇では、営農指導員と購買店舗担当者の「肥料・農薬研修会」を5月30日、JA熊本経済連で開きました。これは営農と購買部門との連携強化に向けた取り組みの一つです。当日は両部門から21人が参加しました。

(写真)研修を受ける営農・購買店舗担当者

営農と購買の連携強化に向けて 肥料・農薬研修会を開催



写真上=長陽の笠野選手の選手宣誓
写真中=優勝した長陽チーム
写真下=準優勝の久木野・西原
合同チーム

長陽チームが2連覇! JA阿蘇親善野球大会

県JA親善野球大会予選を兼ねた第12回JA阿蘇親善野球大会が6月14日、7チームが参加して阿蘇市の農業公園あびかで行われ、熱戦の結果、長陽チームが2連覇をしました。

J A阿蘇では、営農指導員と購買店舗担当者の「肥料・農薬研修会」を5月30日、JA熊本経済連で開きました。これは営農と購買部門との連携強化に向けた取り組みの一つです。当日は両部門から21人が参加しました。

J A熊本経済連の担当職員より、肥料や農薬成分の特徴や有効的な使い方などの研修を受けました。参加した職員は「初めて知ることが多く役に立つた。学んだことを業務の中で生かしていく」と話し、田嶋賢治購買部長は「営農と購買は同じ経済部門のため、連携することで組合員さんへ迅速に情報を届けることができる」と、そのメリットを話していました。今後も営農と購買担当者による合同研修会を開き、部門間における連携を図っていく計画です。

優勝「サザエさん」(一の宮) JA阿蘇親善ソフトバレー大会

地区混合)。上位3チームは9月6日、ウイニングまつばせで行われる県大会に出場します。

女子職員の親睦と融和を図るとともに、県親善ソフトバレー大会予選を兼ねた第10回JA阿蘇ソフトバレー大会が7月12日、阿蘇市体育館で行われ12

チーム81人が参加し熱戦を繰り広げました。開会式で工藤保雄組合長は業務終了後の練習で大変だったと思います

が、親睦を大事に最後まで楽しくプレーして下さい」と挨拶。選手を代表し

長陽チームの笠野紘希選手が力強く宣誓をしました。長陽は1回戦不戦勝で、2回戦は小国郷と同点となりじやんけんで勝利し、決勝戦では久木野・西原合同チームと対戦。初回に大量点を先取、中盤以降にも得点を追加し、15対1と大差で長陽が勝利し、県大会への切符を手にしました。

試合の結果は次の通り。優勝!!「サザエさん」(一の宮)、準優勝!!「おぐタン」(小国郷)、3位!!「南部へー」(南部



3位の「南部へー」チーム



写真上=優勝の「サザエさん」チーム
写真中上=準優勝の「おぐタン」チーム
写真中下=山田・春木職員の選手宣誓

平成27年度 高卒(新規学校卒業)JA阿蘇職員募集要項

阿蘇公共職業安定所
求人番号43090-46049

●阿蘇農業協同組合の職員採用を下記内容により実施いたします。

1. 採用職種及び採用予定者数 一般事務職………8名程度 農業関係技術職………2名程度
2. 受験資格 平成27年3月（来春）までに卒業見込みの者
3. 受験手続
 - (1) 提出書類 統一応募書類（全国高等学校統一用紙 その1、その2）
 - (2) 募集締切日………平成26年9月6日（土）必着
 - (3) 応募書類提出及び問い合わせ先
〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387番地5
阿蘇農業協同組合 総務部総務人事課（電話）0967-22-6111 担当：河津・阪本
 - (4) 応募方法 ア. 原則として郵送に限る。但し、持参や詳細事項の面談の場合は、事前に電話予約が必要。尚、受付終了後「受験票」を郵送します。
イ. 学校を通じ申し込むものとする。
4. 試験の日時・場所及び内容
 - (1) 第1次試験 日時：平成26年9月18日（木）午前9時30分から午後3時20分
(受付：午前8時30分～9時10分)
場所：JA阿蘇 一の宮中央支所
内容：国語、数学、社会、適正検査及び作文
 - (2) 第2次試験 日時、場所：第1次試験合格者のみに後日通知します。
内容：面接試験
5. その他
 - (1) 受験票、筆記用具（鉛筆等）を持参して下さい。
 - (2) 昼食は準備いたします。
 - (3) 受験のための費用は支給しません。

平成27年度 高卒(既卒)・専門学校・短大卒・大卒JA阿蘇職員募集要項

●阿蘇農業協同組合の職員採用を下記内容により実施いたします。

1. 採用職種及び採用予定者数 一般事務職………7名程度 農業関係技術職………3名程度
2. 受験資格 昭和60年4月2日以降出生の者で平成27年3月（来春）までに卒業見込みの者。但し、平成27年3月新規学校卒業見込み者（高校在学中）については別途求人票による。
3. 受験手続
 - (1) 提出書類 ア. 履歴書（J I S規格）………1通（写真付）
イ. 写真（3×4cm）………1枚
(履歴書に貼付した写真と同じものとし、裏面に学校名・住所・氏名を記入)
ウ. 学校成績証明書
エ. 卒業証明書又は卒業見込証明書
 - (2) 募集締切日………平成26年9月6日（土）必着
 - (3) 応募書類提出及び問い合わせ先
〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387番地5
阿蘇農業協同組合 総務部総務人事課（電話）0967-22-6111 担当：河津・阪本
 - (4) 応募方法 原則として郵送に限る。但し、持参や詳細事項の面談の場合は、事前に電話予約が必要。尚、受付終了後「受験票」を郵送します。
4. 試験の日時・場所及び内容
 - (1) 第1次試験 日時：平成26年9月18日（木）午前9時30分から午後3時20分
(受付：午前8時30分～9時10分)
場所：JA阿蘇 一の宮中央支所
内容：高校（既卒）…国語、数学、社会、適正検査及び作文
短大・大学…一般常識I（法律・経済）、一般常識II（国語・数学）、
一般常識III（時事問題）、適性検査及び小論文
 - (2) 第2次試験 日時、場所：第1次試験合格者のみに後日通知します。
内容：面接試験
5. その他
 - (1) 受験票、筆記用具（鉛筆等）を持参して下さい。
 - (2) 昼食は準備いたします。
 - (3) 受験のための費用は支給しません。

— JA の青色申告会があなたの節税のお手伝いを致します —

J A 阿蘇青色申告会 「会員募集！」

J A阿蘇では、多くの組合員のみなさんの悩みのひとつになっている「確定申告」を支援するため、「記帳代行サービス」を強化することとしました。

これにより、これまで大変面倒な作業だった「確定申告及び必要書類の作成」が簡単にできるようになります。

また、ご自身の経営状況を把握することも可能です。

現在、「確定申告」や「経営分析」等でお悩みの方は、さっそく下記担当までお問い合わせください。

現 状

- 日々の記帳が面倒…
- パソコンの操作がよくわからない…
- 各申告書類の作成が難しい…
- 各申告書類がキチンと保管できない…
- 自分の経営状況を把握できない…

加入後

- 日々の記帳から解放され、各作業に専念できます！
- パソコンを使う必要がなくなります！
- 各申告書類が問題なく作成できます！
- 各申告書類がバッチリ保管できます！
- 自分の今の経営状況を簡易的に把握できます！

記帳代行で
解決！！

その他もメリットいろいろ

- 青色申告の特典「65万円控除」を受けることができます！
- 記帳代行にかかる費用は「経費」に算入できます！
- 「節税効果」が期待できます！

お問合せ先 J A 阿蘇管農部管農企画課までお電話下さい。

TEL (0967) - 22-6115

— 農地中間管理機構が農地の

借り受け希望者を募集しています —

農地中間管理機構は、農業経営を縮小される方などから農地を借り受け、担い手農家などに貸し出しています。

機構から農地を借り受けるためには、機構の「借受希望者の募集」に応募する必要があります。(第2回の募集期間は9月1日～9月30日・次回は1月)

『良い農地があれば借りたい。』という方は、是非応募してください。

お問合せ先 熊本県農業公社 TEL (096) - 213-1234

理事会・監事会報告

■平成26年度第3回 理事会

- 日時 平成26年5月29日午後1時30分
 場所 一の宮中央支所会議室
 1.開会
 2.組合長挨拶
 3.協議事項
 1) 平成25年度最終決算について
 2) 役員の選任について
 3) 役員の退職慰労金支給について
 4) TPP交渉における国会決議の実現に向けた特別決議について
 5) 総代会開催に伴う総代に対する招集通知等について
 ①招集通知
 ②総会参考資料
 ③役員候補者の略歴書・所信
 6) アグリスーパー資金の創設について(案)
 7) 平成26年産米出荷契約金設定について(案)
 8) 貸付金(地方公共団体への貸付含む)について
 報告事項
 1) 熊本県常例検査日程等について
 2) 阿蘇農協座談会日程等について
 3) JA阿蘇活動3ヶ年計画の26年3月末進捗状況について
 4) 県域ローンセンター媒介業務実績(四半期実績報告)について
 5) 理事会開催日の変更について
 6) 不祥事再発防止策取組状況(4月分)報告書について
 7) 要改善JA(不祥事点検基準)の指定の解除について(通知)
 8) TPP・規制改革をめぐる情勢とJAグループの考え方について
 4.閉会

■平成26年度第4回 理事会

- 日時 平成26年6月19日午後3時00分
 場所 交通センターホテル
 1.開会
 2.組合長挨拶
 3.協議事項
 5月末実績報告について
 監査報告(平成25年度決算期末監査)
 1) 第13回通常総代会の開催について
 2) 独立監査人の監査報告書について
 3) 農協改革に関する特別決議について
 4) 平成26年度余裕金運用について
 報告事項
 1) 全般統制に関する評価報告書について
 2) 平成26年度米麦等棚卸監査実施要領について
 3) 平成26年度JA阿蘇期中監査実施計画について
 4) 2014 JA阿蘇夏の農機自動車展示会の開催について
 5) JA共済親と子の交通安全ミュージカル
 マモル・ワタルの開催について
 6) 2014 JA-SSドライブウェイサービスコンテスト
 JA阿蘇大会開催について
 7) 不祥事再発防止策取組状況(5月末)報告書について
 4.閉会

■平成26年度第5回 理事会

- 日時 平成26年6月24日総代会終了後予定午後1時30分
 場所 一の宮中央支所会議室
 1.開会
 2.挨拶
 3.議題
 1) 仮議長の選任について
 2) 代表理事及び役付理事の選任について ↗

定款第31条及び32条の規定により、代表理事及び役付理事を次のとおり選任する。

- 3) 常勤役員の他の団体理事等への就任の承諾について
- 4) 理事の順位について 理事の順位については、次のとおりとする。1.2.3.→34.
- 5) 農業委員の選任について

報告事項 1 新任非常勤理事研修会の開催について
 理事会開催日程について
 4.閉会

■平成26年度第6回 理事会

- 日時 平成26年7月4日午後1時30分
 場所 一の宮中央支所会議室
 1.開会
 2.組合長挨拶
 3.協議事項
 1) 業務報告書の行政府への提出について
 2) 事業のご案内2014(ディスクロージャー誌)について
 3) 事業のご案内2014(ミニディスクロージャー誌)について
 4) 各専門委員会等の委員の互選について
 5) 役員賠償保険継続加入と保険料徴収(案)について
 6) 平成26年度役員報酬について
 7) 役員退職慰労金の支給について
 8) 平成27年度JA阿蘇職員募集について
 9) 職員夏期賞与支給について
 報告事項
 1) 常勤役員の他の団体理事等への就任について
 2) 平成26年度座談会開催状況について
 3) 第51回農機自動車大展示会開催について
 4) 2014 JA-SSドライブウェイサービスコンテスト
 JA阿蘇大会について
 5) 定款・規約・諸規程集、理事会等会議資料の管理および連絡事項について
 4.閉会

■平成26年度第3回 監事会

- 日時 平成26年5月30日午後1時30分
 場所 本所2階第1会議室
 1.開会
 2.挨拶
 3.議題
 1) 平成25年度決算監事監査報告書(案)について
 2) 独立監査法人の監査報告書
 報告事項
 ①常勤監事業務報告について(4月)
 ②常勤監事日常監査について(4月)
 ③行事予定について
 4.閉会

■平成26年度第4回 監事会

- 日時 平成26年6月24日午後1時30分
 場所 一の宮中央支所小会議室
 1.開会
 2.仮議長選任
 3.議題
 1) 役付監事の選任について
 2) 監事の順位について
 4.報告事項
 1) 行事予定について
 5.閉会

JA阿蘇でクレジットカードが 使用できる店舗が増えました

主なクレジットカード



NICOS



VISA



UFJ



DC



Master Card



MUFG CARD



AMERICAN EXPRESS



JCB



Diners Club

キャッシュ
カード

購買店舗

農機車輛センターではキャッシュカードをご利用いただけます

NEW

グリーン一の宮・グリーンショップやまびこ・小国郷購買店舗
グリーンなんごう・西原購買店舗・蘇陽購買店舗・高森購買店舗

農機車輛センター

小国郷農機センター・一の宮車輛センター
阿蘇町農機車輛センター・南部農機車輛センター
蘇陽農機車輛センター・西原農機車輛センター

JA SS

小国郷給油所・やまなみ給油所・阿蘇町給油所
一の宮給油所・長陽給油所・白水給油所・高森給油所
西原給油所・久木野給油所・柏給油所・馬見原給油所



JA阿蘇



シロアリは お家を食べます

土の中を移動し、床下から蟻道を作り建物に侵入して木材等を食害します。
とても注意深く、土の中や木材の中で、一年中活動をしています。



シロアリ防除のご相談はJAへ

床下無料調査実施中

無料で床下点検・点検結果の報告を行い、お客様にあった防除をお勧めします。
その後、お客様から申し込みがあった場合に、有償にてJA取扱業者が防除を行います。

お申込み・お問い合わせはお近くのJA(農協)へ